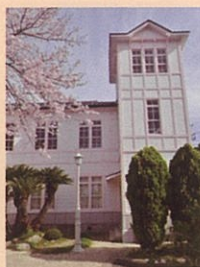


四郷地区内の指定文化財ご案内

⑦旧四日市市役所四郷出張所(四郷村役場)(市指定有形文化財)

大正10年に四郷村役場として建設されました。昭和18年の合併で四日市市役所四郷出張所となり、現在は四郷郷土資料館として地域資料の展示を行っています。木造2階建ての擬洋風建築で、3階建ての塔屋があり、四郷ふるさとの道のシンボリックな存在となっています。



④顕正寺山門(市指定有形文化財)

明治9年に鈴鹿の神戸城の大手門を移築したとされます。木材の古さから建築は江戸時代中期以降とみられます。



④塑造仏頭(県指定文化財・顕正寺)

本仏頭は、奈良時代(8世紀後半)の塑造の如来頭部です。心木に荒縄を巻き付けた上に塑土を盛って造られました。県内には白鳳時代・奈良時代の仏像が少ない上、なかでも貴重な塑像であることから、彫刻史を語る上で欠かせない仏像です。



*見学には、事前予約が必要です。

④木造仏頭(県指定有形文化財・顕正寺)

全長22.3cmの頭部しか残っていませんが、髪を頭上に束ねたもとどりや穏やかな風貌から平安時代後期(12世紀)の制作と推定されます。*見学には、事前予約が必要です。



④木造阿弥陀如来坐像(県指定有形文化財・顕正寺)

像高51.8cmで、腹前で定印を結び、結跏趺坐(両足を腿の上に組んで座る)をする姿をしています。典雅な都ぶりの風貌から中央の仏師の作の可能性が高いとみられます。平安時代後期の制作と考えられます。*見学には、事前予約が必要です。



⑤伊勢安国寺跡(県指定史跡)

夢窓疎石の勧めで足利尊氏・直義兄弟が戦没者を弔うため一国ごとに設けた寺です。地元伝承では、延暦19年(800)に創建された五位鳥山西明寺が転用されたと伝えられ、かつては約1万㎡の広大な寺院であったとのこと。

②⑥東日野・西日野の大念仏(県指定無形民俗文化財)

8月13日と15日の夜に行われ、13日は東日野町の西覚寺から西日野町の顕正寺へ、15日は西日野町の日野神社から東日野町の西覚寺へ練りこむ習慣になっています。

念仏といっても、口で唱えるのではなく、大太鼓と鉦を打ち、ほら貝や笛等を使って表現しています。



四郷ふるさとの道について

四郷ふるさとの道は、四日市あすなろう鉄道の西日野駅の西方にある、顕正寺から吉田神社までの歴史的な趣のある街並みを残している道です。

この辺りは、古くから地場産業として醤油や酒などの醸造業や製糸業などを中心に栄え、歴史的な価値のある建造物があり、大正から昭和の雰囲気を感じながら散策を楽しむことができます。また、寺院・神社も数多くあり、四郷の歴史を感じていただくことができます。

見どころガイド

吉田神社の参道入口から鳥居までの間の階段の両側には狛犬や灯籠などが並んでいます。毎年7月第3土曜日の夕方に虫送り行事が行われます。



⑬吉田神社



⑨神楽酒造

神楽酒造の付近は、黒塀や酒蔵が残り、道を歩くと古い時代の趣を感じることができます。

(正慶元年)
日野神社は、元弘2年(1332)に
こかんしれん
虎関師錬が熊野権現を勧請したと伝えられています。西日野の大念仏の出発地点です。



⑥日野神社



②西覚寺

西覚寺は、こかんしれん
虎関師錬が開いた本覚寺跡付近に寛永19年(1642)に建立されたと伝えられています。東日野の大念仏の出発地点です。

四郷風致地区は、東は春の丘から始まり、西の秋の小径へと続いています。夏の広場からは伊勢湾や四日市コンビナートの景色を楽しむことができます。



⑬夏の広場

編集・発行 四日市市教育委員会 令和3年3月
お問合せ 社会教育・文化財課 電話059-354-8240



市指定有形文化財「旧四日市市役所四郷出張所(四郷村役場)」(現 四郷郷土資料館)



よごう
四郷

ふるさとの道

ガイドマップ

